

第 60 回日本医学検査学会

ベックマン・コールターランチョンセミナー

■ 日時 2011 年 6 月 4 日 (土) 12:10 ~ 13:10

■ 会場 ランチョンセミナー第 7 会場 (東京国際フォーラム 会議室 G402)

シスタチン C 測定検査の現状と将来

— 新たな測定の意義を求めた臨床検査からのアプローチ —

演者 伊藤 喜久 先生 旭川医科大学 臨床検査医学

座長 市原 清志 先生 山口大学大学院医学系研究科 保健学系学域・病態検査学

シスタチン C は、1 歳から 50 歳までほぼ一定濃度に維持され、Cr に見られる筋肉量の影響も受けず小児、成人の腎評価にも有用であり、また構造、物性、動態変化が腎マーカーとして適することに加え、CKD (慢性腎臓病) の診断基準として定められた GFR 60 ml/min にほぼ一致して血清濃度が上昇することも大きな利点があります。

シスタチン C は、上記特長により新規腎機能マーカーとして期待されており、共催社がサポートした「アジア地区を対象とした共有基準範囲設定国際プロジェクト」での測定項目にも含まれています。

当日は、注目の新規マーカーであるシスタチン C について詳細にご講演いただきます。

共催： ベックマン・コールター株式会社
ニットーボーメディカル株式会社

ベックマン・コールター株式会社

お客様専用 ☎ 0120-566-730 ☎ 03-6745-4704 FAX 03-5530-2460
e-mail bckkcas@beckman.com URL <http://www.beckmancoulter.co.jp>